

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	下妻市役所			代表者名	菊池 博
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	0296-43-2117
担当者役職	主幹	担当者氏名	芦ヶ谷 悠平	連絡先E-mail	
住所	304-8501 茨城県下妻市本城町三丁目13番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	ハイブリッド市役所の実現事業		
概要	現在の行政手続きや、事務処理の方法に課題を感じて、職員自らが課題を発見する意識を持つようによる意識改革と、業務改善をする時間を生み出すためのタイムマネジメントについて、学びたいと考えている。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月24日	講演(実地)	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	下妻市役所	最寄駅	下妻駅	
	所在地	茨城県下妻市本城町三丁目13番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	職員全体のDX推進とタイムマネジメントに対する意識改革ができたため。特に、「業務の整理を行い現在の業務を8割で、残りの2割を考える時間や住民と対話する時間、将来を担う子どもたちのために使う。投資の時間を増やすこと。」という話が印象に残った職員が多かった。業務効率化するという市役所内部の行動が、市民や子どもたちのために使える時間が増えたと分かり、職員の地域DX推進のための意識が芽生えた。
アドバイザーへの要望事項	管理職向けにまた研修をしてもらって、市全体で成長していきたい。次回の研修で、DXの思考法を学び、思考法をどのように業務に落とし込んでいくか具体的に知りたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	60人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
	人数	60	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	下妻市は、令和5年にDX推進計画を策定し、デジタルとアナログの良い部分を掛け合わせた「ハイブリッド市役所」の実現を目指している。地域DX推進のために、まず窓口をはじめとして住民との接点をデジタル化する取り組みを行っている。一方で、デジタル化を実行するためには、職員自らが行政手続きの課題を発見し、業務改善に取り組むための時間を確保する必要がある。今回の研修を通じて、意識変革を促進すると同時にタイムマネジメントについて学びたいと考えている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市職員のDX推進に対する意識改革を促進し、課題発見スキルを向上させることで、市役所窓口での申請手続き時間を短縮し、行政手続きのオンライン化を推進する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進リーダーを中心に、市全職員向けのDX推進のためのタイムマネジメントの研修会を行った。 DXを推進するために必要な、時間の使い方や時間の作り方を学んだ。 タイムマネジメントの考え方を身につけ、職場における業務整理や見直しの円滑な取り組みを目指す内容だった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者のほとんどが研修内容に満足し、時間管理やDX推進に関する意識改革にポジティブな変化を感じていた。特に、業務改善や課題発見への意欲が高く評価され、新たなアプローチや提案を行う姿勢が明らかになった。今後は、このポジティブな成果を活かし、更なる業務改善と地域DX推進のための取り組みを継続していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤組織業務改善ができた 意識変化のアンケート分析結果を参照
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修を受けた職員の意識は改善されたが、当然、研修を受けていない職員の意識は改善できない。今回の研修がとてもよかったため、管理職向けの研修も行って、市一丸となって改善を進めていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>主な質問項目: 1.研修プログラム全体に対する満足度 2.DX推進への意識変化 3.業務改善や課題発見への取り組み意欲 4.タイムマネジメントや効率化に関する新たな考え方の獲得</p> <p>アンケート結果: 1.研修プログラムに対する満足度: ・非常に満足、満足: 94% ・その他: 6%</p> <p>2.DX推進への意識変化: ・DXに対する新たな理解を獲得した: 60% ・DXを推進する上での新たなアプローチを考えるようになった: 35% ・それ以外: 5%</p> <p>3.業務改善や課題発見への取り組み意欲: ・業務改善に対する積極的なアプローチを示す: 70% ・新たな課題を発見し、改善のための提案を行った: 30%</p> <p>4.タイムマネジメントや効率化に関する新たな考え方の獲得: ・業務効率化について新たな視点を獲得した: 50% ・タイムマネジメントスキルの向上を実感した: 40% ・その他: 10%</p> <p>研修を通じて、参加者のDX推進に対する意識が変化していることが確認された。 DXは単なるデジタル化ではなく、時間効率化や業務改善に関する新たな考え方として捉えられるように変化した。業務効率化や新たな取り組みに対するポジティブな意見も得られたため、地域DX推進に向かう基礎が出来上がりつつある。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある 管理職向けの研修プログラムや、DX推進のリーダーシップ育成に注力することが重要である。 参加者全体が共通の目標や方向性に向かって成長し、改善を促進するために、持続的な研修が必要である。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	住民との接点のデジタル化 1. スマホ市役所で申請できる行政手続きの充実 2. 書かない・待たない・行かない窓口の実現	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
<input type="checkbox"/> 掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 〇掲載可	
<p style="text-align: center;">なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい</p>		

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

